

# 環境活動レポート



エコアクション21  
認証番号 0008532

対象期間： 平成30年9月1日 ~ 令和元年8月31日

令和元年10月25日 発行



株式会社 田辺豊建設

## 目 次

	ページ
1. 組織の概要	1.
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	2.
3. 環境方針	3.
4. 環境管理組織体制	4.
5. 環境目標	5.
6. 環境活動計画	6.
7. 環境目標の実績	7.
8. 環境活動計画の取組結果とその評価	8.
9. 次年度環境経営目標	11.
10. 次年度の環境経営計画の取組内容	13.
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	14.
12. 代表者による全体評価と見直しの結果	15.

発行日：令和元年10月25日

発行責任者：環境管理責任者 宮崎智伸

次回発行予定：令和2年10月頃

## 1. 組織の概要

【事業所名】 株式会社 田辺豊建設

【代表者氏名】 代表取締役 田辺佳雄

【所在地】 〒787-0019  
本社 高知県四万十市具同2411番地

具同倉庫 高知県四万十市具同田黒3丁目2250-1

### 【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 工務 工事部長 宮崎智伸

連絡先担当者 総務 桑原さおり

連絡先 TEL : 0880-37-3344

FAX : 0880-37-3950

E-mail: [ta2411@ruby.ocn.ne.jp](mailto:ta2411@ruby.ocn.ne.jp)

### 【事業活動の内容】

#### 建設業

建設業許可 特定建設業 高知県知事許可  
許可番号 (特-27) 第1034号  
許可年月日 平成28年2月15日  
建設業の種類 土木工事業、とび・土工工事業  
石工事業、鋼構造物工事業  
ほ装工事業、しゅんせつ工事業  
造園工事業、水道施設工事業

### 【事業規模】

設立年月日 昭和27年4月15日

資本金 2,300万円

完成工事高 44,588万円(令和元年8月決済)

従業員数 35名(令和元年8月末現在)

事業所敷地面積 1,957㎡

事業所延べ床面積 187㎡

倉庫敷地面積 1,183㎡

倉庫延べ床面積 480㎡

会計年度 9月 ~ 8月

## 2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

### 【対象範囲（認証・登録範囲）】

株式会社田辺豊建設 全社

本社 高知県四万十市具同2411番地

具同倉庫 高知県四万十市具同田黒3丁目2250-1

対象事業： 土木工事業、とび・土工工事業  
石工事業、鋼構造物工事業  
ほ装工事業、しゅんせつ工事業  
造園工事業、水道施設工事業  
上記事業に付帯関連する一切の業務

### 【レポートの対象期間】

平成30年9月1日～令和元年8月31日

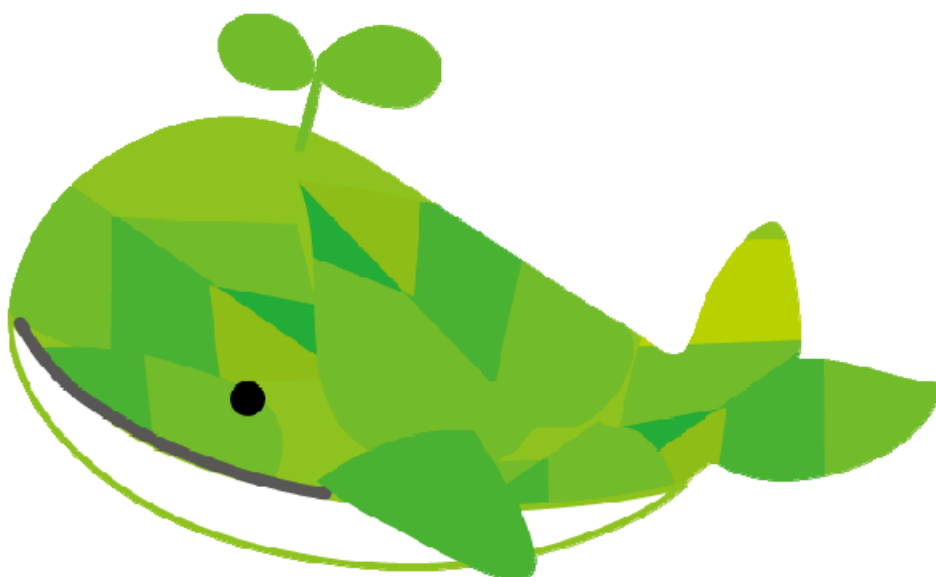
### 【環境活動レポートの発行日】

令和元年 10 月 25 日

### 【作成責任者】

環境管理責任者

宮崎智伸



### 3. 環境方針

わが社の事業活動が、環境に与える影響を考慮して資源の有効活用に努め、地域の環境状況・動向に配慮し、汚染を予防し環境と調和した持続可能な循環型社会を目指した活動を推進すると共に環境に関する法規・条例を遵守し、環境保全に取り組みます。

#### 【基本方針】

1. 当社が施工するすべての工事において、環境負荷の少ない取り組みを行います。
2. 重機、車両の燃料使用量削減により、二酸化炭素排出量削減に努めます。
3. 事業活動における電力使用量削減により、二酸化炭素排出量削減に努めます。
4. 事業活動における廃棄物排出量削減及び、再資源化に努めます。
5. 事務所、倉庫、現場における水使用量削減に努めます。
6. グリーン購入を推進します。
7. 環境関連法規及び条例等を遵守します。
8. 地域周辺の環境に対する貢献やボランティア活動へ積極的に取り組みます。
9. 環境方針は全従業員に周知し、環境保全意識の向上を図ります。
10. 環境活動レポートを作成し、外部に公表します。

代表取締役

田辺佳雄



## 4. 環境管理組織体系図



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者 代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システム実施に対する準備提供</li> <li>・環境方針の策定、見直し、決定および全従業員へ周知</li> <li>・環境管理者の任命、環境実施体制の構築</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し</li> <li>・環境目標、環境活動計画書、環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ確認、承認</li> <li>・環境目標、環境活動計画書の確認</li> <li>・環境活動の取り組み結果を代表者へ報告</li> <li>・環境活動レポートの確認</li> </ul>
E A 2 1 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐</li> <li>・環境負荷・環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表作成、表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境活動レポート、必要書類等の作成、公開、管理</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部門に於ける環境経営の実施</li> <li>・従業員に対する教育訓練の実施、記録の作成</li> <li>・環境活動計画の実施、及び達成状況の報告</li> <li>・問題点の発見、是正処置及び予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められた事を守り、自主的、積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 5. 環境目標

### (1) 単年度目標

項目		実績 (基準年) H22.9-H26.8 (平均値)	H30年度目標 H30.9-H31.8	
削減目標	燃料使用量(ℓ) <b>ガソリン</b>	17,254	16,391	(5%減)
	<b>軽油</b>	56,110	53,305	(5%減)
	<b>灯油</b>	3,209	3,049	(5%減)
	電力使用量(kWh)	21,837	20,745	(5%減)
	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> ) *1	216,239	205,427	(5%減)
	用水使用量(m <sup>3</sup> )	157	149	(5%減)
達成目標	グリーン購入量(%) *2	41%	50%	
	廃棄物再資源化率(%) *3	100%	100%	(100%)
	環境負荷の少ない工事件数(%) *4	100%	100%	(100%)
	環境美化活動(ロードボランティア回数)	10	10	(継続)

### (2) 中長期目標

項目		基準年 H22.9-H26.8 (平均値)	H29年度 目標 4%減 H29.9-H30.8	H30年度 目標 5%減 H30.9-R元.8	R元年度 目標 6%減 R元.9-R2.8	R2年度 目標 7%減 R2.9-R3.8	
削減目標	燃料使用量(ℓ) <b>ガソリン</b>	17,254	16,564	16,391	16,219	16,046	(毎年1%減)
	<b>軽油</b>	56,110	53,866	53,305	52,743	52,182	(毎年1%減)
	<b>灯油</b>	3,209	3,081	3,049	3,016	2,984	(毎年1%減)
	電力使用量(kWh)	21,837	20,964	20,745	20,527	20,308	(毎年1%減)
	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> ) *1	216,239	207,589	205,427	205,427	201,102	(毎年1%減)
	用水使用量(m <sup>3</sup> )	157	150	149	147	146	(毎年1%減)
達成目標	グリーン購入量(%) *2	41%	42%	50%	-	-	
	廃棄物再資源化率(%) *3	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	環境負荷の少ない工事件数(%) *4	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	環境美化活動(ロードボランティア回数)	0	10	10	10	10	継続

\*1. 電力のCO<sub>2</sub> 発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub> 排出係数(2012年度実績)

の四国電力の実排出係数0.7(kg-CO<sub>2</sub> / kWh)を使用した。

\*2. グリーン購入の目標は割合の継続及び事務用品費の削減。定着したため、R元年度以降の目標は設定しない。

グリーン購入/事務用品購入額×100

\*3. 原材料としての利用が不可能なものをのぞく。

\*4. 環境負荷の少ない工事：環境負荷の少ない材料を使用。

低騒音、排出ガス対策型重機の使用。

型枠、工事看板への間伐材の使用。

濁水防止対策の実施。

{環境負荷の少ない工事/受注工事件数}×100

## 6. 環境活動計画

項目		活動内容	担当者	期限
CO <sub>2</sub> 排出量 削減	燃料使用量 削減	<input type="checkbox"/> 現場通退勤時の乗り合わせ	環境管理責任者 宮崎 工務 今城	R元. 8. 31
		<input type="checkbox"/> アイドリングストップの徹底		
		<input type="checkbox"/> 急発進、急加速の禁止		
		<input type="checkbox"/> 重機の効率良い運転		
		<input type="checkbox"/> 低燃費車に順次入替		
	電力使用量 削減	<input type="checkbox"/> 不要照明の消灯	事務局 桑原 総務 田辺(早)	R元. 8. 31
		<input type="checkbox"/> エアコン設定温度の厳守（冷房28℃ 暖房20℃）		
		<input type="checkbox"/> 夏場の節電の為扇風機を設置		
		<input type="checkbox"/> O A 機器のスイッチオフ及び省電力設定		
		<input type="checkbox"/> L E D への移行、検討		
<input type="checkbox"/> 省電力製品への買換え、検討				
用水使用量削減 (排水量削減)	<input type="checkbox"/> 手洗い等の日常節水	事務局 桑原	R元. 8. 31	
	<input type="checkbox"/> 水道使用後の水道栓の確認			
	<input type="checkbox"/> 節水シール等による節水呼掛け			
	<input type="checkbox"/> 水漏れ点検			
廃棄物削減	<input type="checkbox"/> 不要資料の不受理	事務局 桑原 総務 田辺(早)	R元. 8. 31	
	<input type="checkbox"/> ゴミの分別			
	<input type="checkbox"/> 両面、集約コピーの促進			
	<input type="checkbox"/> ミスプリントの裏面使用			
	<input type="checkbox"/> シュレッダーによる再利用不可書類のリサイクル			
	<input type="checkbox"/> 現場での有効利用の検討			
	<input type="checkbox"/> 産業廃棄物の適正処理			
グリーン購入	<input type="checkbox"/> エコマーク商品の優先購入	総務 田辺(早)	R元. 8. 31	
	<input type="checkbox"/> 既存品からエコ商品への切替			
環境美化活動	<input type="checkbox"/> ボランティア活動への積極的参加	工務 今城	R元. 8. 31	
	<input type="checkbox"/> 現場での地域社会貢献			
環境負荷の少ない工事実施	<input type="checkbox"/> 環境負荷の少ない材料を使用	工務 今城 各工事担当者	R元. 8. 31	
	<input type="checkbox"/> 低騒音、排出ガス対策型重機の使用			
	<input type="checkbox"/> 型枠、工事看板への間伐材の使用			
	<input type="checkbox"/> 濁水防止対策の実施			
	<input type="checkbox"/> 手戻り工事なしの促進			



## 7. 環境目標の実績

### (1) 本年度実績

項 目		基準年 H22.9-H26.8 (平均値)	H30年度 目標 H30.9-H31.8	H30年度 実績 H30.9-R元.8	削減率・達成率 (%)	評価
削減目標	燃料使用量(ℓ) <b>ガソリン</b>	17,254	16,391	19,425	18.5	× 未達成
	<b>軽油</b>	56,110	53,305	91,146	71.0	× 未達成
	<b>灯油</b>	3,209	3,049	832	-72.7	○ 達成
	電力使用量(kWh)	21,837	20,745	17,565	-15.3	○ 達成
	C <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> ) *1	216,239	205,427	294,650	43.4	× 未達成
	用水使用量(m <sup>3</sup> )	157	149	971	553.1	× 未達成
達成目標	グリーン購入率(%) *2	41%	50%	52%	103.4	○ 達成
	廃棄物再資源化率(%) *3	100%	100%	89.9%	89.9	*3 残りは不可能なもの
	環境負荷の少ない工事件数(%) *4	100%	100%	100	100.0	○ 継続
	環境美化活動(ロードボランティア)	10	10	10	100.0	○ 継続

\*1. 電力のC<sub>2</sub> 発生量については、電気事業者別のC<sub>2</sub> 排出係数(2012年度実績)

の四国電力の実排出係数0.7(kg-CO<sub>2</sub> / kWh)を使用した。

\*2. グリーン購入の目標は割合の継続及び事務用品費の削減。

グリーン購入/事務用品購入額×100

\*3. 原材料としての利用が不可能なものをのぞく。

\*4. 環境負荷の少ない工事: 環境負荷の少ない材料を使用。

低騒音、排出ガス対策型重機の使用。

型枠、工事看板への間伐材の使用。

濁水防止対策の実施。

{環境負荷の少ない工事/受注工事件数}×100

削減目標式 : 削減率 = { (実績値 / 目標値) - 1 } × 100 (%) 評価 = (— 数値) が ○ 達成

達成目標式 : 達成率 = (実績値 / 目標値) × 100 (%)

評価 : 達成 ○、不十分 △、未達成 ×

燃料使用量(ℓ)	工事件数は減ったが工事内容により重機の大量投入が避けられず軽油の使用量が大幅に増えた。
電力使用量(kWh)	エアコン使用時の扇風機併用やストーブの使用で抑えられた。
C <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	軽油使用量が増えた事に伴い増加した。
用水使用量(m <sup>3</sup> )	工事内容により水道を現場で引いた為、事務所では多量使用していない。
グリーン購入率(%)	エコ商品が増えた事により達成。
廃棄物再資源化率(%)	不可能な物以外は再資源化できた。
環境負荷の少ない工事件数(%)	全工事において達成、継続中。
環境美化活動(ロードボランティア)	達成、継続中。

### (2) 過去3年間の実績の推移

項 目		基準年 H22.9-H26.8 (平均値)	H28年度 実績 H28.9-H29.8	H29年度 実績 H29.9-H30.8	H30年度 実績 H30.9-R元.8
削減目標	燃料使用量(ℓ) <b>ガソリン</b>	17,254	16,872	14,394	19,425
	<b>軽油</b>	56,110	77,900	47,399	91,146
	<b>灯油</b>	3,209	1,981	1,220	832
	電力使用量(kWh)	21,837	19,389	18,950	17,565
	C <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	216,239	262,234	174,170	294,650
	用水使用量(m <sup>3</sup> )	157	126	210	971

### (3) 原単位の把握(完成工事高百万円当りのCO2排出量)

	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
完成工事高	百万円	202	310	525	445
CO2排出量	t-CO2	233	262	174	294
完工高百万円当たりのCO2排出量	t-CO2 / 百万円	1.153	0.845	0.331	0.66

## 8. 環境活動計画の取組結果とその評価

期間：平成30年9月 ～ 令和元年8月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し	
CO <sub>2</sub> 排出量 削減	燃料使用量	○ 現場通退勤時の乗り合わせ	概ね良好。	△ もう少し	概ね出来ているがさらに徹底していく	
		○ アイドリングストップの徹底	概ね良好。	△ もう少し	概ね出来ているがさらに徹底していく	
		○ 急発進、急加速の禁止	概ね良好。	△ もう少し	概ね出来ているがさらに徹底していく	
		○ 重機の効率良い運転	概ね良好。	○ 概ね出来ている	概ね出来ているがさらに徹底していく	
		○ 低燃費車に順次入替	概ね良好。	○ 概ね出来ている	順次入替えていく	
	電力使用量	削減	○ 不要照明の消灯	良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続
			○ エアコン設定温度の厳守（冷房28℃ 暖房20℃）	良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続
			○ 夏場の節電の為扇風機を設置	良好。	○ 出来た。	設置出来た
			○ O A機器のスイッチオフ及び省電力設定	概ね良好。	△ もう少し	一部移行後、検討中。
			○ LEDへの移行、検討	概ね良好。	△ もう少し	順次、買換え検討
			○ 省電力製品への買換え、検討	概ね良好。	△ もう少し	順次、買換え検討
用水使用量削減 (排水量削減)	○ 手洗い等の日常節水	良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続		
	○ 水道使用後の水道栓の確認	良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続		
	○ 節水シール等による節水呼掛け	良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続		
	○ 水漏れ点検	良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続		
廃棄物削減	○ 不要資料の不受理	良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続		
	○ ゴミの分別	良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続		
	○ 両面、集約コピーの促進	良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続		
	○ ミスプリントの裏面使用	良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続		
	○ シュレッダーによる再利用不可書類のリサイクル	良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続		
	○ 現場での有効利用の検討	良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続		
	○ 産業廃棄物の適正処理	良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続		
グリーン購入	○ エコマーク商品の優先購入	良好。	○ 出来た。	安定して達成できているので目標からは外す		
	○ 既存品からエコ商品への切替	概ね良好。	○ 出来た。	安定して達成できているので目標からは外す		
環境美化活動	○ ボランティア活動への積極的参加	概ね良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続		
	○ 現場での地域社会貢献	良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続		
環境負荷の少ない工事实施	○ 環境負荷の少ない材料を使用	良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続		
	○ 低騒音、排出ガス対策型重機の使用	良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続		
	○ 型枠、工事看板への間伐材の使用	良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続		
	○ 濁水防止対策の実施	良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続		
	○ 手戻り工事なしの促進	良好。	○ 出来た。	良好につきこのまま継続		



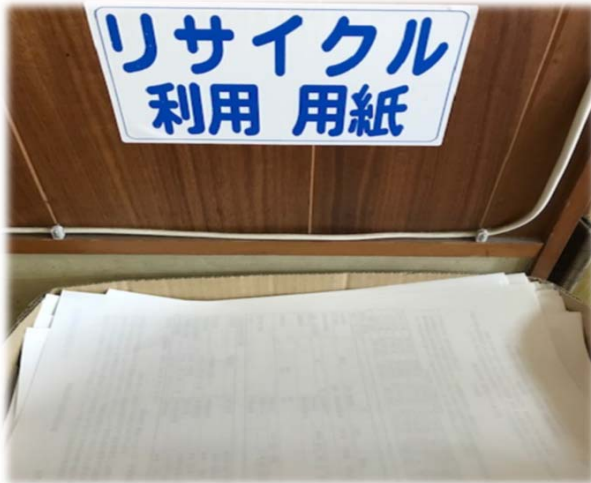
社長室、総務、  
工務各部屋に扇風  
機を設置



社長室をLEDへ



現場近辺、地元住民とゴミ拾い



裏紙再利用



県産間伐材看板の使用



4 t ダンプ  
H31. 1月入替



コマツ バックホーPC138US-11  
R元年. 7月 導入



## 9. 次年度の環境経営目標

### (1) 削減目標の過去(直近)4年間の実績集計・新たな基準値(平均値)

項目		H27年度 実績 H27.9-H28.8	H28年度 実績 H28.9-H29.8	H29年度 実績 H29.9-H30.8	H30年度 実績 H30.9-R元.8	4年平均
削減目標	燃料使用量(ℓ) <b>ガソリン</b>	14,671	16,872	14,394	19,425	16,341
	<b>軽油</b>	69,410	77,900	47,399	91,146	71,464
	<b>灯油</b>	1,840	1,981	1,220	832	1,468
	電力使用量(kWh)	17,662	19,389	18,950	17,565	18,392
	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> ) ※1	233,189	262,234	174,170	294,650	241,061
	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> ) ※4	230,275	259,035	171,043	294,182	238,634
	用水使用量(m <sup>3</sup> )	147	126	210	971	364
一般廃棄物排出量(kg)	365	133	289	457	311	

\*1. 電力のCO<sub>2</sub>発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub>排出係数(2012年度実績)

の四国電力の調整後排出係数0.7(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用した。

\*2. 原材料としての利用が不可能なものをのぞく。

\*3. 環境負荷の少ない工事： 環境負荷の少ない材料を使用。  
低騒音、排出ガス対策型重機の使用。  
型枠、工事看板への間伐材の使用。  
濁水防止対策の実施。

{環境負荷の少ない工事/受注工事件数}×100

\*4. 目標変更について、排出係数を調整後排出係数に変更するにあたり、過去の消費量を新しい設定値にて再計算。

新しい設定値の電力のCO<sub>2</sub>発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub>排出係数(H29年度実績)の四国電力の調整後排出係数0.535(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用した。

### (2) 新たな基準値(直近4年間平均値)からの中長期目標

項目		実績 (基準年) H27.9-R元.8 (平均値)	R元年度 目標 1%減 R元.9-R2.8	R2年度 目標 2%減 R2.9-R3.8	R3年度 目標 3%減 R3.9-R4.8	R4年度 目標 4%減 R4.9-R5.8	
削減目標	燃料使用量(ℓ) <b>ガソリン</b>	16,341	16,177	16,014	15,850	15,687	(毎年1%減)
	<b>軽油</b>	71,464	70,749	70,034	69,320	68,605	(毎年1%減)
	<b>灯油</b>	1,468	1,454	1,439	1,424	1,410	(毎年1%減)
	電力使用量(kWh)	18,392	18,208	18,024	17,840	17,656	(毎年1%減)
	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> ) *4	238,634	236,247	233,861	231,475	229,088	(毎年1%減)
	用水使用量(m <sup>3</sup> )	364	360	356	353	349	(毎年1%減)
	一般廃棄物排出量(kg)	311	308	305	302	299	(毎年1%減)
達成目標	廃棄物再資源化率(%) *2	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	環境負荷の少ない工事件数(%) *3	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	環境美化活動(ロードボランティア)	10	10	10	10	10	継続

※ グリーン購入の目標は2017年版ガイドライン運用の開始にともない、次年度より設定しない。

## 次年度の環境経営目標

### (3) 単年度目標

項 目		基準年	令和元年度	
		H27. 9-R元. 8 (平均値)	R元. 9-R2. 8	
削減目標	燃料使用量(ℓ) <b>ガソリン</b>	16,341	16,177	(1%減)
	<b>軽油</b>	71,464	70,749	(1%減)
	<b>灯油</b>	1,468	1,454	(1%減)
	電力使用量(kWh)	18,392	18,208	(1%減)
	CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> ) *1	238,634	236,247	(1%減)
	用水使用量(m <sup>3</sup> )	364	360	(1%減)
	一般廃棄物排出量(kg)	311	308	(1%減)
達成目標	廃棄物再資源化率(%) *2	100%	100%	(100%)
	環境負荷の少ない工事件数(%) *3	100%	100%	(100%)
	環境美化活動(ロードボランティア回数)	10	10	(継続)

\*1. 電力のCO<sub>2</sub> 発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub> 排出係数 (H29年度実績)

の四国電力の調整後排出係数0.535 (kg-CO<sub>2</sub> / kWh) を使用した。

\*2. 原材料としての利用が不可能なものをのぞく。

\*3. 環境負荷の少ない工事：環境負荷の少ない材料を使用。

低騒音、排出ガス対策型重機の使用。

型枠、工事看板への間伐材の使用。

濁水防止対策の実施。

{環境負荷の少ない工事/受注工事件数} × 100



## 10. 次年度の環境経営計画

項目		活動内容	担当者	期限
CO <sub>2</sub> 排出量 削減	燃料使用量 削減	○ 現場通退勤時の乗り合わせ	環境管理責任者 <u>宮崎</u> 工務 今城	R2. 8. 31
		○ アイドリングストップの徹底		
		○ 急発進、急加速の禁止		
		○ 重機の効率良い運転		
		○ 車両、重機を低燃費車に順次入替		
	電力使用量 削減	○ 不要照明の消灯	事務局 <u>桑原</u> 総務 田辺(早)	R2. 8. 31
		○ エアコン設定温度の厳守（暖房20℃ 冷房28℃）		
		○ 扇風機やストーブの併用でエアコンの使用を最小限に抑える		
		○ O A機器のスイッチオフ及び省電力設定		
		○ LEDへ順次、移行		
○ 省電力製品への買換え、検討				
用水使用量削減		○ 手洗い等の日常節水	事務局 桑原	R2. 8. 31
		○ 水道使用後の水道栓の確認		
		○ 節水シール等による節水呼掛け		
		○ 洗濯機を新型に買替え		
		○ 蛇口等、水回り部の水漏れ点検		
廃棄物削減		○ 不要資料の不受理	事務局 <u>桑原</u> 総務 田辺(早)	R2. 8. 31
		○ ゴミの分別		
		○ 両面、集約コピーの促進		
		○ ミスプリントの裏面使用		
		○ シュレッダーによる再利用不可書類のリサイクル		
		○ 現場での有効利用の検討		
○ 産業廃棄物の適正処理				
環境美化活動		○ ボランティア活動への積極的参加	工務 今城	R2. 8. 31
		○ 現場での地域社会貢献		
環境負荷の少ない工事实施		○ 環境負荷の少ない材料を使用	工務 <u>今城</u> 各工事担当者	R2. 8. 31
		○ 低騒音、排出ガス対策型重機の使用		
		○ 型枠、工事看板への間伐材の使用		
		○ 濁水防止対策の実施		
		○ 手戻り工事なしの促進		

## 11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

作成日: 令和元年8月31日

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	管理責任者	遵守	R元. 8. 31
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約 水銀使用製品の産業廃棄物対象	必要時	総務	遵守	R元. 8. 31
	第12条の三 第12条の10, 11項	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付 多量排出事業者（年間1000t以上）に該当した場合 県へ計画書提出、報告	随時 該当時	総務	遵守 遵守	R元. 8. 31 R元. 8. 31
	第12条の三 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び 高知県知事への提出	1回/年 6月	総務	遵守	R元. 8. 31
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	1回/年 6月	管理責任者	遵守	R元. 8. 31
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	1回/年 6月	管理責任者	遵守	R元. 8. 31
建設リサイクル法	第12条	対象建設工事の届出に関わる事項の説明 （発注者に対しては書面を交付）	各工事毎	管理責任者	遵守	R元. 8. 31
	第12条2	下請工事に対しては下請契約締結前に当該工事の届出事項を告知	各工事毎	管理責任者	遵守	R元. 8. 31
	第16条	再生資源化等の実施	各工事毎	管理責任者	遵守	R元. 8. 31
	第18条	発注者への完了報告 （再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書）	各工事毎	管理責任者	遵守	R元. 8. 31
地方税法 特記仕様書	第700条22の2	不正軽油の使用禁止	必要時 各工事毎	管理責任者	遵守	R元. 8. 31
オフロード法	第4条2	特定特殊自動車排出ガスによる大気汚染防止 （平成18年10月以降に製作された建設機械については 基準適合表示の貼ってあるものを使用）	1回/年 6月 各工事毎	管理責任者	遵守	R元. 8. 31
フロン排出抑制法	第5条	業務用エアコンの適正管理 簡易点検の実施と記録の保存	必要時 3ヶ月に1回	管理責任者	遵守	R元. 8. 31
	第41条	廃棄の際、第一種フロン類充填回収業者へ委託し 回収証明書を受領	廃棄時		該当なし	R元. 8. 31
水質汚濁防止法	第14条の6 第14条の7	生活排水対策の実施に協力 生活排水による汚濁の負荷の低減に資する設備の整備	1回/年 6月	管理責任者	遵守	R元. 8. 31
浄化槽法	第10条 第11条	毎年4回浄化槽の保守点検及び浄化槽の清掃 毎年1回指定検査機関の行う水質に関する検査	4回/年 2月	管理責任者	遵守	R元. 8. 31
グリーン購入法	第5条	物品の購入時にはできる限り環境物品等を選択する	購入毎	総務	遵守	R元. 8. 31
省エネ法	第4条	エネルギー使用の合理化	必要時	管理責任者	遵守	R元. 8. 31
高知県環境基本条例	第6条	事業活動に伴って生ずる公害を防止し、又は自然環境 を適正に保全する為、必要な措置を講ずる	1回/年	管理責任者	遵守	R元. 8. 31
	第7条	日常生活に伴う環境への負荷の低減	1回/年	管理責任者	遵守	R元. 8. 31
四万十川条例	第7条	流域内において行う事業活動に関し、四万十川の保 及び流域の振興に自ら努める	1回/年	管理責任者	遵守	R元. 8. 31

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

平成30年9月1日より令和元年8月31日までの間、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。  
過去、5年間についても同様にあります。



## 12. 代表者による全体評価と見直しの結果

- 定期見直し
- 臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
<b>【取組状況の評価結果】</b> ①環境関連法規制等の遵守状況 環境関連法規制等への違反、訴訟はありませんでした。  ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 問題はありませんでした。  ③前回までの代表者の指示事項への対応 総務室に続き社長室の照明のLED化も済、順次進める。  <改善提案>				<b>【環境経営方針】</b>	
				変更の必要性： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
				2017年度版ガイドラインの運用スタートに伴い、見直す。	
				<b>【環境経営目標・環境経営計画】</b>	
<b>【目標・環境経営計画の達成状況】</b>				変更の必要性： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
				2017年版の運用に伴い、見直す。 基準値を直近4年間の実績の平均値として設定し直し、現実味に近い目標としてそれぞれ達成を目指していく。 水道使用量はその年の受注工事内容により現場で使用しない大きく変動するので目標の立て方を検討する。	
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 達成状況	コメント (目標値、環境経営計画に対するコメント)		
燃料使用量(ℓ) ガソリン	×	△	移動時の乗り合せ、車両のアイドリングストップは概ねできている		
軽油	×	○	多くの重機投入で増となった。		
灯油	○	○	基準値が大きいので大減となっておりが次回からの新基準値でも減となるよう心掛ける		
電力使用量(kWh)	○	○	このまま節電の意識を継続していきたい		
用水使用量(m³)	×	○	現場で使用したので増加したが事務所では多量使用していない		
グリーン購入量	○	○	出来ている		
廃棄物の再資源化	○	○	不可能なもの以外は再資源化できた。		
環境負荷の少ない工事件	○	○	良好に付このまま継続		
環境美化活動	○	○	良好に付このまま継続		
<改善提案>				<b>【その他】</b>	
				変更の必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<b>【周囲の変化の状況】</b> ①外部コミュニケーション記録より 特にありません。  ②環境関連法規制等の動向他				環境経営システムは有効に機能している。	
				<b>【総括】</b>	
エコアクション21ガイドライン2017年版へ移行し環境のみならず経営全体を発展させる為課題とチャンスを整理明確にし、代表者主導のもと環境経営活動を行っていく。					
代表者が自ら得た情報					